

このお知らせを該当するユーザーマニュアルに挟んで保管いただくことを推奨いたします。

ベースラインシフトワークフロー中の通信エラー

製品：MOSAIQ® (Unity Comprehensive Motion Management)

日付：2024 年 10 月

参照番号（フィールドチェンジオーダー、FCO）：371-05-MSQ-079

フィールドコレクティブアクション(FCA)番号（該当する場合）：N/A

関連先：MOS-61906、レガシーID：HPQC 2890

このドキュメントには、Elekta グループの機密情報および専有情報が含まれており、これらの情報はこのドキュメントを受け取った人のみが使用できます。このドキュメントは著作権保護の対象であり、Elekta の書面による許可のない本ドキュメントの配信、配布、または複製は固く禁じられています。

適用範囲：	MOSAIQ 3.2.1 以降の Unity Comprehensive Motion Management (CMM) のお客様。
説明：	<p>CMM ワークフロー中に、ベースラインシフト(BLS)計画を MOSAIQ にエクスポートして解剖学的位置決めモニタリング(APM)を同時に開始すると、治療セッションマネージャ(TSM)で Elekta デジタルリニアックインターフェイス(EDLI)の通信エラーが発生することがあります。</p> <p>これは、Monaco®での承認前に BLS 計画が進行しているときに MOSAIQ が待機段階にあり、TSM から APM を開始した場合にのみ発生します。</p>
解決策：	<p>この問題は、将来の MOSAIQ リリースで解決される予定です。</p> <p>この問題は、BLS 計画を開始する前に APM を一時停止し、BLS 計画が承認されたら APM を再起動すると回避できます。EDLI 通信エラーが発生した場合は、セッションを終了してから再起動します。</p>
テクニカルリファレンス：	N/A
お問い合わせ先：	この通知についてご質問等ございましたら、担当の Elekta Care サポートセンターまでご連絡いただきますようお願い申し上げます。